

事業所自己評価・ミーティング様式
1. 初期支援（はじめのかかわり）

実施日	令和4年10月28日（16:30～17:30）
メンバー	鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4	1	1		6

前回の改善計画	本人、家族ともに不安な状態でのサービス開始となるため、送迎、サービス担当者会議などで本人の様子をこまめに報告し、共有する。そして、それぞれに合わせた対応や支援に努め、信頼関係を築いていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の不安な気持ちを汲み取り、無理強いはせず、短時間利用など、本人に合わせた支援を提供した。別居家族にはこまめに電話で相談を受けたり、事業所での様子を伝えるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6				6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	4			6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	3			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	2	1		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初回面談や契約時に管理者や統括ケアマネージャーが得た情報を書面にまとめ、利用前に閲覧している。サービスに慣れていない本人や家族には、まずは「訪問」から利用してもらったり、「通い」の利用時間を短くできることを伝え、午前中のみ利用にするなど対応している。利用開始後、本人にとって必要な支援が見えてくる。事業所が全て支援するのではなく、本人、家族ができることは行えるようしっかりと話し合いをしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族が、本人の認知症の進行状況に対応できず、戸惑いや不安な気持ちを抱えているとき、その気持ちを吐き出せる配慮が十分でないときがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
丁寧で細やかな声かけを心がけ、相手の表情や声のトーンに気をつけながら話をゆっくり聞き、利用者本人と家族の不安な気持ちに寄り添う。そして、少しでも気持ちが和らぐよう支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月28日 (16:30 ~ 17:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		6			6

前回の改善計画

介護保険の仕組み、ケアプラン作成過程の勉強会を再度行う。そして、内容をしっかりと理解したうえで、支援を統一し、本人の「～したい」が実現できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

事業所会議で介護保険の仕組み、ケアプランの作成過程の勉強会を行い、内容を理解するように努めた。そして、本人の「～したい」の実現に向けて、全職員で共有し、統一した支援をすることができた。

◆今回の評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	2	1		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	2			6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	1			6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	2	1		6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日常的に本人の目標実現を目指したかかわりを心がけている。体操やレクリエーション、家事活動等を行う際、「何故、何のためにやるのか」を伝えるようにしている。上手くいった関わりや、逆に上手くいかなかった関わり等、会議等で報告・相談して共有し、次に活かせるように努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

目標達成計画書を作成し、本人の「～したい」を把握した上で、支援を行うことができているが、計画書が満期になったときに、利用者の満足感、達成感を得ているか把握できていないときがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

目標達成計画書が満了するときに、本人の満足感や達成感について、本人と話し合う機会を設け、記録に残す。そして、次の目標達成計画書、日々の支援に繋げることができるように努める。自分の意思を伝えることが難しい利用者には、その利用者合った質問の仕方や表情などをみて意思を汲み取るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月28日 (16:30 ~ 17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5			6

前回の改善計画	事業所が使用しているアセスメント「センター方式 B-3 (私の暮らし方シート)」の内容を充実させる。そして、以前の暮らし方を理解し、より良い支援に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日常の会話の中で、昔の暮らしを聞きだし、センター方式 B-3 用紙に記入できるようアセスメントファイルを作成した。以前の暮らし方を理解し、利用者同士の会話や利用者の意欲向上の支援に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	2		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	1			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6			6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	1			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	2			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
介護記録ソフト導入後、1年が経った。職員も入力に慣れ、今まで以上に詳しく記録を入力することができ、職員間で情報の共有もできるようになった。そして、今の状態、状況に合わせた支援ができている。事業所会議毎に、全利用者について話し合い、情報を共有して、その人の「今の状態、状況に合わせた支援方法」を検討している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の状態の変化が早く、家族、職員と共有し支援内容の変更を検討しているうちに、状況がどんどん変わり、対応が後手になってしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人の状態の変化を発見し、支援内容の変更が必要な場合には、今以上に積極的に意見提案・交換ページを活用して、速やかに検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月28日 (16:30 ~ 17:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	4			6

前回の改善計画	
家族からは送迎等の際に、積極的に本人の日常生活の様子を教えてもらえるような言葉かけを行い、情報を収集する。事業所からもサービス利用時の様子を詳しく伝え、情報を交換、共有する。家族と話をするときは、専門用語を使用せず、分かりやすい言葉で話すようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
送迎時などに、家族に事業所の様子を伝え、自宅での様子を聞くように努めている。家族によって思いや感じ方に差があることも念頭に入れ、話の内容を分かりやすい言葉で話すようにしている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6			6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5			6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	2		6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	1	3		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用時など、家族や近所の方から聞いた話などは、状況の把握ができるように記録を残し、全職員で情報の共有をしている。地域住民の方々に助けをもらいながら生活を続けている方もみえるため、その方たちに会うことができたときには、本人の様子や情報を聞いて、把握するように努めた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	同居家族がいる場合は、家族から普段の自宅での様子を聞くようにしている。しかし、独居や高齢者世帯の場合は別居家族も普段の生活を把握しておらず、本人に聞いても曖昧で把握しきれていない場合が多い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	引き続き、家族からは送迎等の際に、積極的に本人の日常生活の様子を教えてもらえるような言葉かけを行い、情報を収集する。事業所からもサービス利用時の様子を詳しく伝え、情報を交換、共有する。家族と話をするときは、専門用語を使用せず、分かりやすい言葉で話すようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月28日 (16:30 ~ 17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	2	2		6

前回の改善計画
「地域資源とは何か」の勉強会を再度開き、全職員で知識の習得をする。そして、必要時には家族に地域資源の内容を説明して、適切に活用し、より良い支援に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
知立市の高齢者福祉サービスについて勉強会を開催した。特に、独居や高齢者世帯の利用者には、利用できるサービスがないか検討した。地域資源を理解し活用される家族は少ないが、サービス担当者会議などでは、説明し提案している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4			6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	1			6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	1			6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	3			6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
独居や高齢者世帯の方たちには、利用できる市のサービス等を紹介している。また近隣の友人や知人が支援している場合は、関係を継続できるよう配慮している。本人や家族の利用希望には可能な限り応じることができるように努めているが、難しい場合には、代替案を提示するようにしている。パソコンの記録ソフト導入後、以前に比べ、記録にかかる時間が短縮でき、利用者に関わる時間が増えた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「通い」での様子などは、細かく記録に残し共有できている。しかし、「訪問」時の様子は、「訪問」内容(服薬した、薬を貼ったなど)の記入のみが多く、その時の状態や発した言葉などが記入されていないことがあり、自宅での「変化」を把握できていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
自宅での「変化」に気づいたときは、様子、発言などを細かく記録に残し、全職員で共有していく。そして、自宅で過ごしているときの本人の様子をできる限り把握できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月28日 (16:30 ~ 17:30)

6. 連携・協働

メンバー 鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		2	2	2	6

前回の改善計画	新型コロナウイルスにより、今後は地域や関連機関との関わり方も変わらざるを得ない。新たな地域や関連機関との関わり方を検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の方と関わりが絶たないように、事業所内での様子をパネルにし、事業所前を散歩等で通る方に見てもらえるようにした。近所の方が散歩中に足を止めて見ていることもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？			3	3	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？				6	6
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			1	5	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			2	4	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
通常は定期のサービス担当者会議以外にも、必要時には他機関と話し合いや相談の場を設けているが、今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、サービス担当者会議に他事業所（訪問看護、福祉用具等）は参加してもらわず、照会と電話相談のみにしている。他事業所と直接会って話しをする機会が減った分、電話やFAXで本人の様子や状況等を情報交換、共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今年度も、新型コロナウイルス感染防止のため、外部との会議や地域のイベントが全て中止になり参加できなかった。事業所でも、利用者以外の方たちは基本的に立ち入りをお断りしている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
新型コロナウイルスにより、今後も地域や関連機関との関わり方も変わらざるを得ない。新型コロナウイルス収束を見据え、新たな地域や関連機関との関わり方を検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月28日 (16:30 ~ 17:30)

7. 運営

メンバー 鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		3	2	1	6

前回の改善計画	新型コロナウイルス感染症により、今後は地域との関わり方も変わらざるを得ない。新たな地域との関わり方を考え、アンケートの内容を一から検討し直す。
前回の改善計画に対する取組み結果	新たな地域との関わり方を考え、実行に移しているが、事業所で、地域の方を招いての行事の目途はつかないため、アンケートの内容を検討することは保留とした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	2	1		6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	1	1		6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	1	2		6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	5		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 毎月の法人全体での会議や年2回の管理者との面談の場等で、職員として意見を言う機会がある。利用者や家族、地域等からの苦情や要望等の報告書があり、提出があった場合には会議で対策、対応を話し合い運営に反映させている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 町内高齢者サロンの健康体操講師として毎月職員を派遣していたが、今年度も、新型コロナウイルス感染防止のため、全て中止となり地域と協働した取組みはほとんどできなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、地域と協働した取組みができるように、地域とのつながりを維持していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月28日 (16:30 ~ 17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	3			6

前回の改善計画	オンライン研修で、事業所内で活用できそうな内容について勉強する。その内容を会議で共有し、よりよい支援ができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	今、事業所全体で支援に活かしたい項目をオンライン研修で行い、事業所会議で発表し、共有しよりよい支援に繋げるよう努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	2			6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5			6
③	地域連絡会に参加していますか				6	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	1			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	毎月、法人会議の中で、内部研修を実施している。新型コロナウイルス感染防止のため、外部研修を控えている。そのため、オンライン研修を各職員月1回以上受講している。毎月、リスクマネジメント委員会で、提出されたヒヤリハット報告書や事故報告書を集計・分析し、全体会議で共有している。月2回の事業所会議でも、提出された報告書の内容について、必要に応じて対策を検討している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	例年は、職員全員が年1回以上、外部研修に参加していたが、今年度も、新型コロナウイルス感染防止のため、外部研修自体が中止になることが多く、ほとんど参加できなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	オンライン研修で、事業所内で活用できそうな内容について勉強する。その内容を会議で共有し、よりよい支援ができるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月28日 (16:30 ~ 17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 鈴木 大山 板倉 堀田 和田 加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	3			6

前回の改善計画	利用者の状態やその場、そのときの状況に合わせて、利用者に適切な言葉遣いを意識して支援する。職員間でもお互いの言葉遣いを意識し、必要時はきちんと注意をし合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前研修で習得した「ですます調」を活用し、伝わりにくい場合はジェスチャーなども用いて適切な対応ができるようにした。職員間で、お互いの言葉遣いを意識し合い、必要時は注意をし合うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6				6
②	虐待は行われていない	6				6
③	プライバシーが守られている	5	1			6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	1		6
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	1			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束廃止や虐待防止、プライバシー保護、成年後見制度の研修を毎年繰り返し行っている。リスクマネジメント委員会で、身体拘束や虐待に繋がるような不適切ケアが発生していないか、毎月話し合っている。そのとき、利用者の尊厳を大切に「ですます調での話し方」や「依頼形での声かけ」について話し合い、日々の業務で実践できるように努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
話しが盛り上がりすぎたり、難聴の方に伝わらないときなど、声が大きくなってしまったり、気のゆるみが出ると、ですます調や依頼形での声かけの徹底ができていないときがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き、利用者の状態やその場、そのときの状況に合わせて、利用者に適切な言葉遣いを意識して支援する。職員間でもお互いの言葉遣いを意識し、必要時はきちんと注意をし合う。	